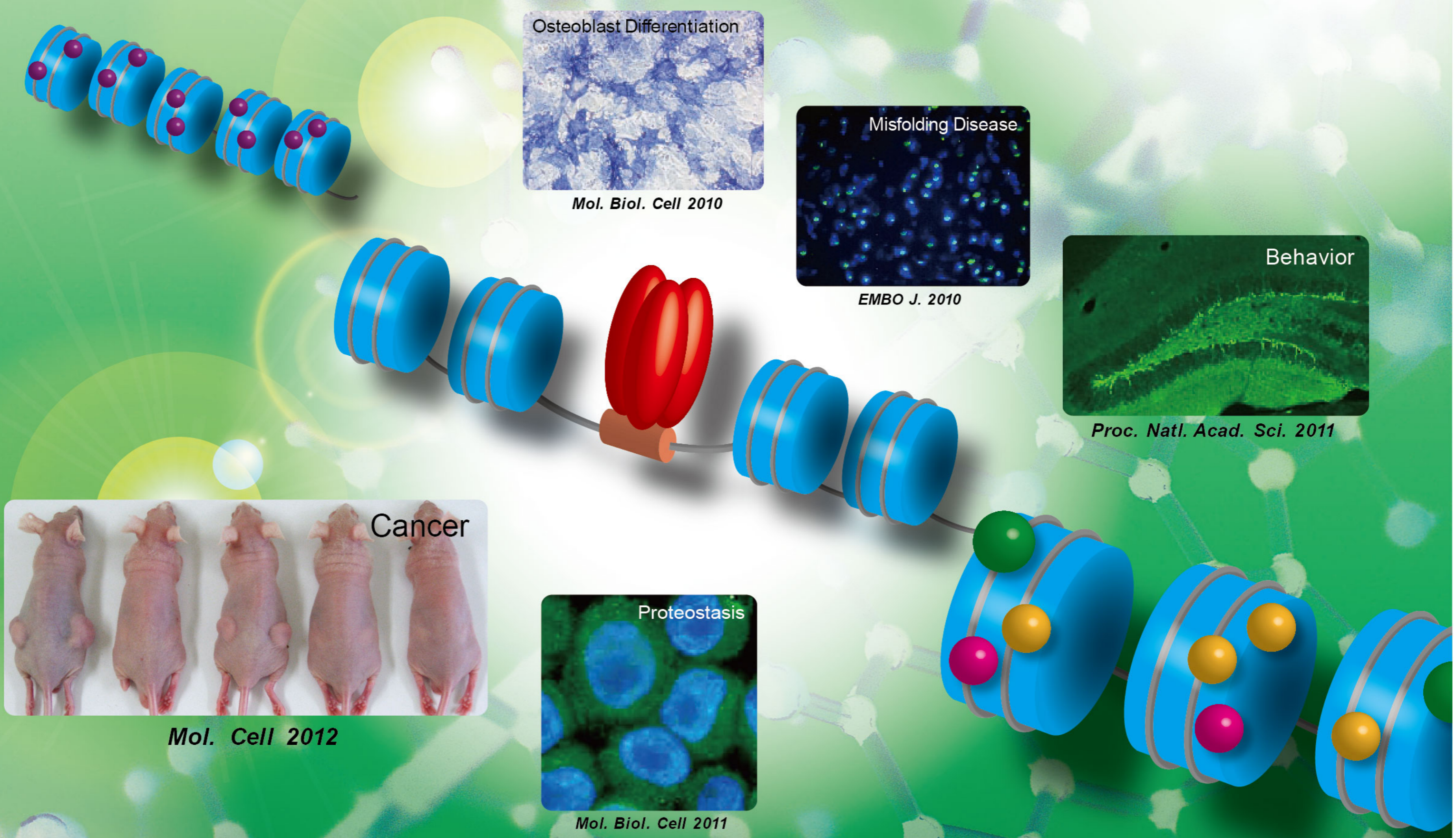


山口大学研究推進体「ストレス」成果報告シンポジウム



生体恒常性の
仕組みの
解明と
医学への
応用

次世代を担う若手医学研究者からの提案

山口大学医学部 霜仁会館
2013年2月8日(金)

12:55 - 13:00 「開会の辞」 丸本 卓哉 山口大学学長
13:00 - 13:10 「山口大学の学術研究戦略について」 三池 秀敏 学術担当副学長
13:10 - 13:15 「研究プロジェクトの概要と総括」 中井 彰 代表

13:15 - 15:15 セッションI. 新規分子から病態解明へ
座長: 林田直樹 / 倉増敦朗

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1) 藤本充章 (生化学II) | タバコ質毒性ストレスに対する適応の仕組み |
| 2) 本田 健 (薬理学) | 間葉系幹細胞分化におけるタンパク質分解関連因子の役割 |
| 3) 山本由似 (解剖学I) | 精神疾患を理解するための脂肪酸結合タンパク質研究 |
| 4) 崔 丹 (病理学I) | 血管透過性の酸素による調節機構 |
| 5) 藤永竜太郎 (解剖学II) | 神経細胞特異的封入体の神経変性疾患における役割 |
| 6) 岸 博子 (生理学I) | ストレスファイバー形成を担う新規シグナル分子の発見 |
| 7) 田部勝也 (内科学III) | 膵β細胞のストレス応答制御と糖尿病 |
| 8) 木村和博 (眼科学) | レチノイン酸による角膜潰瘍形成抑制の分子機序 |

15:15 - 15:30 休憩

15:30 - 17:30 セッションII. 分子から疾患治療へ
座長: 池田安宏 / 湯尻俊昭

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 9) 広瀬敬信 (耳鼻科学) | 老人性難聴における熱ショック応答の役割 |
| 10) 中村好貴 (皮膚科学) | 熱ショック因子によるメラノーマの制御 |
| 11) 芳原輝之 (精神科学) | 抗うつ病効果発現とヒストン修飾変換の関連 |
| 12) 清水文崇 (神経内科学) | 血液神経関門を制御する物質の同定 |
| 13) 井上貴雄 (脳外科学) | 脳の局所的な冷却による脳神経系ストレスの制御 |
| 14) 前田祥成 (外科学II) | HSP70を用いた癌免疫細胞療法の臨床応用 |
| 15) 細山 徹 (外科学I) | ヒトiPS細胞の組織特異的前駆細胞への分化誘導と応用 |
| 16) 池田安宏 (内科学II) | ストレスで作動する誘導型心不全遺伝子治療法の開発 |

17:30 - 17:35 「閉会挨拶」 坂井田 功 山口大学大学院医学系研究科長

学外、学内からの御来聴を歓迎いたします。参加無料、登録不要。

主催: 山口大学研究推進体「ストレス応答と関連した難治性疾患の克服のための戦略」
共催: 山口大学大学院医学系研究科
問い合わせ先: 山口大学大学院医学系研究科医化学分野 (藤本: 0836-22-2215)